

(3) 総合 平成6年(1994年) 11月15日(火曜日)



発行所
 世界日報社

東京都渋谷区宇田川町12番9号
 郵便番号 150
 電話 (03) 3476-3411
 郵便振替口座 東京7-40860番
 © 世界日報社 1994

アジアの大動脈へ期待

「日韓トンネル」で国際会議

東京

北東アジアの開発と日韓海洋トンネル(構想)を考える「東アジアハイウェイ計画に関する国際会議」(主催・国際ハイウェイプロジェクト日韓トンネル研究会、佐々保雄会長)が十四

日、東京・市ヶ谷の私学会館で開催され、日本、韓国、中国の研究者たちが活発な討議を行った。

同シンポジウムは、北東アジアの「環日本海経済圏」が持続的かつ平和的に発展していくためには国境をまたぐハイウェイや鉄道、パイプラインなどの大規模インフラ(産業基盤)が不可欠との認識から、一九九二年より開催され、今年で三回目。中国、韓国のスピーカーからは、各国の国土開発計画の概要やインフラ(産業基盤)整備の現状、日韓トンネルに対する各国の取り組みなどが報告された。

中国の趙惠安・京丹国際

大な交通の大動脈が完成する」と、日韓トンネルに対する期待を表明した。

一方、韓国海外技術公社社長の成百詮氏は、韓国政府が釜山を国内第二の中核都市として育てていることを紹介、同国の国土開発計画を策定する段階で日韓トンネルも意識されたことを暗に指摘した。さらに、日韓トンネルを釜山外郭環状道路(現在計画中)に連結する前提で、「対馬―巨済島―加徳島―釜山」など有力な建設ルート三案を提言した。